



TOBE DESIGN 2023

Ehime Prefectural Matsuyama Minami High School Tobe Branch School Information





伝統の手仕事 先端の手仕事
クラフトからデジタルまで
 砥部の手仕事 世界デザイン
小さな町から広い世界まで

愛媛県立松山南高等学校砥部分校は、全国唯一のデザイン科単科の高校です。国の伝統的工芸品「砥部焼」の里、砥部町にあります。砥部分校の歴史は昭和23年に設置された愛媛県立砥部高等学校に始まり、今年で76年目を迎えます。伝統の手仕事である砥部焼から、先端の手仕事であるデジタル表現までを網羅する幅広いデザインの授業であなたの感性を刺激し、小さなものづくりの町「砥部」から、姉妹校の台湾新北市立鶯歌高級工商職業学校をはじめとする広い「世界」のデザインと触れ合うことができる学校です。



1. 工芸実習棟（陶芸室） 2. CG作品の制作（3年実習II CGIコース） 3. 写真の実習（1年工業技術基礎） 4. 石膏デッサン（3年実習II 美大受験コース） 5. 大作の制作（3年実習II セラミッククラフトコース） 6. 浴衣制作（3年ファッション造形基礎）



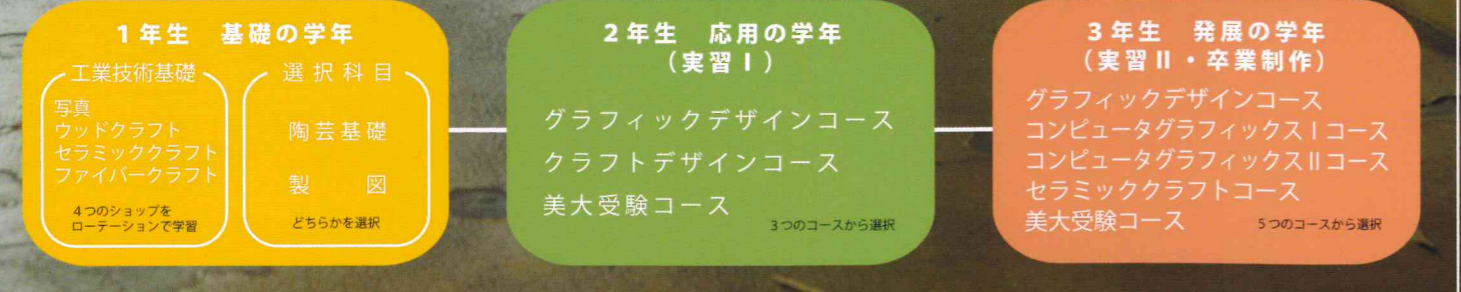
ととぶんのまなび

校訓 「自らを律せよ」

さわやかな目
豊かな心
確かな手

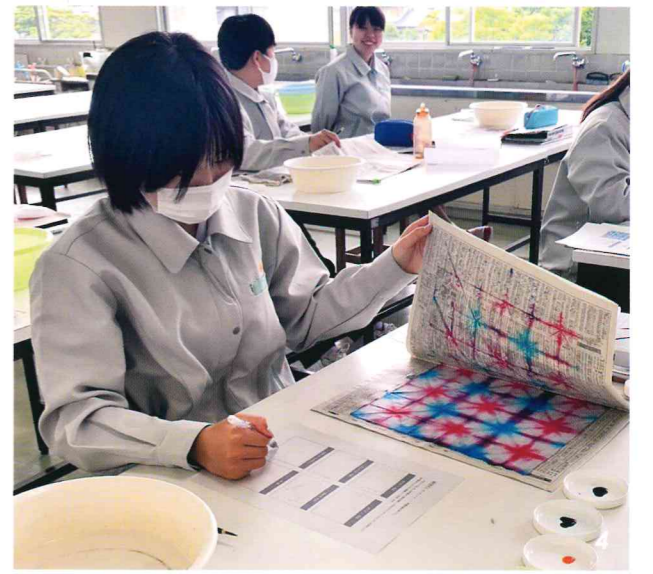
砥部分校では、グラフィックデザイン・クラフトデザインを中心に専門的な学習をします。1年生では工業技術基礎、デザイン基礎、工業情報数理、製図、陶芸基礎、デザイン実践、美術Ⅰなど様々な分野の基礎的な学習を通じ、自分にあったデザインのジャンルを探ります。2年生になると、実習Ⅰが3つのコースに分かれ、さらに3年生では5つのコースの中から自分に合ったコースを選択していきます。2、3年生では専門科目と普通科目との選択授業が設置され、受験や資格取得など、それぞれの目的に合わせて、柔軟に科目を選ぶことができます。定員は40名です。

コース選択の流れ



1年生 基礎の学年

1年生は基礎の学年です。普通科目とデザイン科目の学習を通して、生きる上で基礎となる力を身に付けます。特に、芸術科目やデザイン科目では技術と知識を学ぶだけでなく、デザインワークを進める上で基礎となる考え方を身に付けるため、多くの「体験的な活動」が用意されています。木を削ったり、土を練ったり、時には砥部の自然を写真で切り取ったり、繊維素材を加工したり、自分の目で見、自分の手で触れ、それを全身の感覚で味わう。そんな貴重な経験をたくさん積むことができます。工業技術基礎やデザイン基礎では、グラフィックデザインやクラフトデザインの基本的な技術や考え方を学びます。工業情報数理では、コンピュータの基本的な操作と画像処理ソフトウェアの使用方法を、課題を通して実践的に学びます。美術Ⅰでは、描写力や造形力などの美術の基礎を制作や鑑賞を通して身に付けます。このように、1年生は様々な学びを通して、自分の望む方向性を踏まえつつ、2年生からのコース選択に向けた基礎を築く重要な学年です。



1. 写真の実習 (工業技術基礎 写真) 2. 結びくりによる花瓶の制作 (工業技術基礎 セラミッククラフト) 3. 糸鋸による成形 (工業技術基礎 ウッドクラフト) 4. 染料で和紙に模様をつける。(工業技術基礎 ファイバークラフト)

1年生のカリキュラム

現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ	人間生活と科学	体育	保健	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	製図 陶芸基礎	工業技術基礎	工業情報数理	デザイン実践	デザイン基礎Ⅰ	HR活動
-------	------	----	-----	---------	----	----	-----	--------------	------------	--------	--------	--------	---------	------

※上下に配置された科目は選択科目

2年生 応用の学年



2年生は応用の学年です。1年生で培った基礎の力を3つのコースの中から選択した自分のコースで応用し、さらにデザインについての学習を深めていきます。色彩検定やレタリング技能検定など、将来の自分にとって必要な資格に挑戦したり、インターンシップで興味のある職業について理解を深めたりするなど、自己実現に向けて様々な経験を積むことができます。

グラフィックデザインコース

このコースでは、デザイン計画、印刷、CGの3つの講座をローテーションで経験します。デザイン計画では、パッケージデザインやロゴマークのデザインなどを学びます。印刷では主にシルクスクリーンについて学び、それをテキストスタイルデザインやプロダクトデザインに応用します。CGではCGアニメーションの制作や映像編集などを通してデジタル分野のグラフィックデザインについて学びます。

クラフトデザインコース

このコースでは、材料の準備や道具の作り方・使い方など、基本となる作業工程や考え方を陶芸を通して学んでいきます。ロクロ成形では、電動ロクロを使った器の数挽きを行い、そば猪口、茶碗、皿といった器の成形をします。タタラ成形では、型に合わせて皿とボウルなどを制作します。その他に、動物をモチーフに陶器の彫刻（陶彫）や磁器のアクセサリなども作ります。

※数挽きとは、同じ形状の器を複数制作する方法

美大受験コース

このコースでは、3年生での進路実現を目指して難関美術系大学の受験を想定し、その基礎となる力を付けるためデッサンを中心に学んでいきます。幾何形態からモチーフデッサン、石膏デッサンなどに取り組み、基本的なデッサン力を身に付けます。また、色彩構成や立体造形など多様な受験に対応するため、様々な道具や材料に触れる機会を多く設け、実践的な経験を積んでいきます。



1.ロクロ成型後（実習Ⅰ） 2.自分で撮った写真の中の自分を撮る（実習Ⅰ） 3.パッケージデザイン（実習Ⅰ） 4.シルクスクリーン印刷（実習Ⅰ） 5.アニメーションの制作（実習Ⅰ） 6.鉛筆デッサン（実習Ⅰ）

2年生のカリキュラム

文学 国語	地理 総合	数学 A	生物 基礎	体 育	保 健	英語 コミュニ ケーションⅡ	家庭 総合	素描	デザイン 実践	デザイン 実習Ⅰ	デザイン 基礎Ⅱ	総合的な探究の時間	H R 活動
								古典 探究	論理・ 表現Ⅰ				

※上下に配置された科目は選択科目

3年生 発展の学年



3年生は発展の学年です。2年間の学習からさらに発展的なデザインの学習ができる5つのコースが用意されています。3年間の集大成として時間をかけて卒業制作に取り組み、「卒業制作展」として愛媛県美術館に展示します。課題研究では、各自がそれぞれテーマを決めて研究し、文化祭で発表します。デザイン史、デザイン実践などの授業を通して、デザインについての知識や理論も学びます。

グラフィックデザインコース

視覚伝達を目的としたポスター、イラストレーション、商品パッケージなどを制作します。CGⅠコースとの違いは、「手描き」の良さを生かしたグラフィックにこだわる点です。グラフィックデザイナーやイラストレーター、絵本作家などになりたい人が選択するといいコースです。

コンピュータグラフィックスⅠコース

画像処理ソフト（PhotoshopやIllustrator、CLIPSTUDIO PAINTなど）を使用し、ポスターやイラストレーションなどの作品や商品企画デザインを制作します。イラストレーターやキャラクターデザイナー、商品企画や雑誌編集などの仕事に就きたい人におすすめのコースです。

コンピュータグラフィックスⅡコース

CLIPSTUDIO PAINTやAfter Effects、Premiere Proなどの動画制作ソフトを使用し、動画やアニメーションを制作します。音源制作も含め本来複数人で行う一連の作業を体験します。アニメーターやゲームクリエイター、動画制作者になりたい人が選択するとよいコースです。

セラミッククラフトコース

砥部の磁土や信楽の陶土を使い、食器を中心に花器や照明器具、時計、オブジェなどを制作します。立地を生かし、砥部焼の窯から直接指導を受けることもできます。多くの生徒が公募展に出品し、入賞を果たしています。陶芸やクラフトを学びたい生徒に最適なコースです。

美大受験コース

難関美術系大学進学希望の生徒を対象に、デッサンや水彩、油絵、色彩構成、彫刻、立体造形など、大学入試を想定した課題に取り組み、毎年国公立や難関私立の美術系大学への進学実績を上げています。難関美術系大学への進学を目指す人におすすめのコースです。



1.石膏デッサン（実習Ⅱ） 2.大型作品の絵付け（実習Ⅱ） 3.動画の制作（実習Ⅱ） 4.公募展の説明（実習Ⅱ） 5. CG作品の制作（実習Ⅱ）

3年生のカリキュラム

文学 国語	歴史 総合	体 育	英語 コミュニ ケーション Ⅱ	家庭 総合	素描	デザイン 実践	デザイン 応用	デザイン 実習Ⅱ	課題 研究	デザイン 史	デザイン 基礎Ⅲ	H R 活動
					古典探究 数学演習 ファッション 造形基礎	論理・ 表現Ⅱ	実践 英語					

※上下に配置された科目は選択科目

とべぶん生の進路実現

とべぶん生の進路は多様です。とべぶんでは、少人数の利点を生かし、生徒1人1人が納得のいく進路実現ができるよう様々な形でサポートしています。担任以外にも授業や講座担当教員がそれぞれの進路実現に向けてアドバイスをを行う体制が整っています。1人の生徒が相談に来ると、いつの間にか教員3~4人が一緒になって進路を考えているなんてことも・・・。

難関大学への進学を考えている生徒には、実習によるコース別の学習のほかに、普通科補習で学力保障を行います。各教科のきめ細やかな指導にプラスして、部活動を通して得られる貴重な経験、放課後サポート教室「TAS」の取組など、生徒1人1人の未来を考える学校でありたいと考えています。

令和4年度の四年制大学及び短期大学合格実績

岡山県立大学1 広島市立大学1 大阪芸術大学1 京都精華大学1 嵯峨美術大学1 就実大学1 多摩美術大学1
東京造形大学1 松山大学1 松山東雲女子大学1 武蔵野美術大学1 大分県立芸術文化短期大学3 松山東雲短期大学2

過去5年間の進学先

愛媛大学 愛知県立芸術大学 岡山県立大学 京都市立芸術大学 広島市立大学 長岡造形大学 大分県立芸術文化短期大学
大阪芸術大学 京都精華大学 京都芸術大学 嵯峨美術大学 成安造形大学 多摩美術大学 東京工芸大学 東京造形大学
武蔵野美術大学 高知リハビリテーション専門職大学 就実大学 聖カタリナ大学 別府大学 松山大学 松山東雲女子大学
法政大学通信教育部 大阪芸術短期大学 嵯峨美術短期大学 奈良芸術短期大学 松山東雲短期大学 松山短期大学
聖カタリナ短期大学 アミューズネイルスクール 愛媛県美容専門学校 愛媛調理製菓専門学校
愛媛コミュニケーションプライダル専門学校 大阪市立デザイン教育研究所 大阪総合デザイン専門学校
大阪アニメーションスクール 大阪スクールオブミュージック 大阪テーマパーク・ダンス専門学校
大阪ヒコ・みずのジュエリーカレッジ 大阪ビジュアルアーツ専門学校 大原簿記公務員専門学校 河原医療大学校
河原デザインアート専門学校 河原電子ビジネス専門学校 河原外語観光・製菓専門学校 九州デザイナー学院
京都伝統工芸大学校 京都芸術デザイン専門学校 建国大学語学堂 神戸電子専門学校 KOSE美容専門学校 湘南美術学院
東京ガラス工芸研究所 砥部焼陶芸塾 文化服装学院 松山ビジネスカレッジ専門学校 モード学園

令和4年度の就職先

伊予鋳業所2 同源堂1 源吉兆庵1 Porte1 レンゴー1

過去5年間の就職先

伊予鋳業所 伊予マーク 梅野製陶所(梅山窯) エイジングウェル サンタ 四国シキシマパン 石材振興会 同源堂
長浜木履工場 バッドボーイズ ホテル古湧園 マルナカ 丸の内産業 源吉兆庵 Porte ルナパーク レンゴー 自衛隊

卒業生の声 (令和4年度卒)



高橋 南帆
(久米中出身)
広島市立大学
芸術学部
デザイン工芸学科

私は広島市立大学の芸術学部デザイン工芸学科に入学しました。デザイン工芸学科では1年生の時に様々な分野の事を学び、2年生になるとそれぞれの分野に分かれて専門的に学びます。金属や漆など、自分だけでは触れることのない分野も学べます。これまではカメラについて学んだり、ものの破壊と創造をしたりしています(笑)。今は落語を聞いて、その物語を平面作品に落とし込んでいます。授業では様々な発想の作品が見られて、血沸き肉踊ります。砥部分校で培ってきた技術は、大学でも生かすことができ、3年間制作に向き合った成果を感じることができています。



渡部 琉歌
(琴浦中出身)
岡山県立大学
デザイン学部
工芸工業デザイン学科

私は岡山県立大学のデザイン学部工芸工業デザイン学科に入学しました。デザイン学部では1年生ではデザインや立体描写などの基礎的な科目を履修でき、2年生からプロダクト・テキスタイル・セラミックの3つの専攻から興味のあるものを選択して学んでいきます。学生の人数が学年で30人なのに対して先生の数は15人程で、専攻やゼミに分かれるときめ細かい指導をして頂けます。現代ではものづくりの分業化が進んでいますが、この学科では、企画から製造までの過程を一通り学べ、実際に企画から制作までを自分で行えるようになり、デザインに必要な思考力を身につけることができます。「ものづくりがしたい!」という目標を持って集まったメンバーなので、お互いに切磋琢磨しあえ、毎日学校に行くのが楽しいです。



篠原 志公
(岡田中出身)
武蔵野美術大学
造形学部
彫刻学科

大学から一人暮らしを始めて悪戦苦闘な日々を送っています。篠原です。私の通う武蔵野美術大学は立川駅から自転車で20分弱の所にあります。午前には実習を、午後には学科の授業があります。美大ということもあって、面白い方々が多いです。中には50代のまだ会社をやめてない社会の方がいたり、とても同年代とは思えない同い年の人がいたりして、ユニークで面白い環境です。周りの人たちに圧倒されながらも自分も負けないよう頑張っています。先輩方のなかには1年生のときから仕事を請け負っている方々がおられたりして、これが美大かと驚きました。受験期を迎えた3年生の頃は試験の日が近づくにつれ不安と未熟さに泣きそうになって受験をやめそうになるくらい追い詰められていましたが、諦めずに続けて武蔵美に行けて良かったと思います。とべぶんに行かなかつたら私はまた別の進路をとっていたのだらうと思います。感謝の気持ちを忘れずに、大学でも頑張っていきたいです。



得井 ひより
(砥部中出身)
大阪市立デザイン
教育研究所

私は、この春から大阪市立デザイン教育研究所に進学しました。本校は公立の2年間の専修学校で、即戦力としてデザイナーの力をピンポイントで鍛えてくれる充実したカリキュラムが魅力です。初めて一人暮らしを始めたのも合わさって、生活は目まぐるしいですが、その分得られるものも多く、毎日一杯授業を楽しんでいます。主な授業はプロダクトデザインですが、グラフィックのスキルも磨くことができます。特に、「プロジェクト」という授業では実際に企業の方から依頼を頂き、より本番に近い活動ができます。アナログからデジタル、立体から平面まで、とにかく色々なことがしたい!学びたい!触れたい!という方におすすめのあったかい雰囲気の良い学校です。気になる方はぜひSNSをチェックしてみてください。



佐々木 愛流
(伊予中出身)
河原医療大学校
歯科衛生学科

私は、河原医療大学校の歯科衛生学科に進学しました。1年目は主に座学で基礎を学び、2年目から実習が本格的に進んでいきます。また、実習は学内だけでなく、歯科医院や病院でも行います。そのため、多くの知識や経験を得ることができます。国家試験に向けて、3年間勉強に励んでいます。デザインと医療の分野は全く違いますが、細かい作業が好きだったり、理系系が教科の中でも好きな方は楽しいと感じるような職業だと思っています。入学した当初は、勉強内容も(患者様)とのコミュニケーションについても不安ばかりありませんでした。しかし、分かりづらい所は補足を入れながら教えてくださり、友達同士で協力し合って問題を解決していくことができるため、少しずつ不安も無くなっていきました。今は緊張することなく過ごしています。



濱家 さくら
(砥部中出身)
有限会社
伊予鋳業所

私は伊予鋳業所という会社に就職しました。主な仕事内容は石の選別で、砥部を始めとした様々な焼き物の産地へと出荷しています。高校ではセラミッククラフトコースを選択していましたが、陶芸の授業で当たり前のように使っていた粘土の製造過程を知ることができ、いつもワクワクしながらお仕事させていただいています!会社には石や粘土の専門家の方がたくさんいらっしゃるの、日々勉強になりますし、いろんな場所でもさまざまな業務をさせて頂いているので、多くの事を体験できてとても面白いです。卒業して感じるのは、砥部分校での授業の思い出もさることながら、友人達との強い絆もかけがえのないものだということです。一瞬一瞬を大事に今を楽しんでください!本社に興味がおありの方は、アルバイトも歓迎していますので是非!

未来を結ぶ様々なプロジェクト

オートクチュールと砥部町



松山南高校砥部分校は、令和7年度のゲームクリエイションコース(仮称)新設に向け、4月28日、株式会社オートクチュールと砥部町との三者間で包括連携協定を結びました。今後は、デジタル人材の育成など4項目について連携して協力することになります。令和5年夏頃には、学校内にサテライトオフィスが設置され、令和5~6年度までは部活動などを中心に、令和7年度からは本格的に授業や部活動で専門的な指導を行う予定です。

台湾との交流

平成29(2017)年から台湾の新北市立鶯歌高級工商職業学校と松山南高校として姉妹校提携し、交流を続けていました。この3年間は新型コロナウイルス感染症の流行によりオンライン以外での交流ができない状態でしたが、アフターコロナの今、改めて相互の両校友好関係をより発展させ、国際教育交流を通じ教育や文化、持続可能な開発目標(SDGs)その他幅広い分野において協力するため、5月12日に砥部分校としても協定を締結しました。



in とべぶん

とべぶん赤砥土プロジェクト

200年の歴史(とき)を超え、現代の高校生が挑む「赤砥土」の魅力開発

「赤砥土」とは、砥部焼に適さないといわれる鉄分を多く含んだ陶石を生成した粘土です。焼成してみると、風合いは陶器のようでありながら、性質は磁器のような独特の魅力を持っています。200年前、砥石屑の再利用を目的に「磁器の砥部焼」が誕生しました。その磁器生産は、砥部町の主要な産業として定着し、白磁に藍色の染付が施された「砥部焼」として広く世間に知られるようになりました。このような先人にならない、砥部焼誕生から200年後に当たる今、陶芸部では、限りある資源を有効活用し、持続可能な砥部焼文化の継承に資するため「赤砥土」の可能性と魅力を開発・発信することを目的としてプロジェクトを立ち上げました。皆さんも陶芸部に入ってこのプロジェクトに参加してみませんか?

TAS (Tobe After School)

自転車置き場で雨が上がるのを待ったり、バスやお迎えの待ち時間など、何かと放課後時間の使い方が複雑なとべぶん生。そんなとべぶん生が空いた放課後時間を使って自分の実力を伸ばすための場所を作りました。補習や部活動ではない、とべぶん生の表現や進路にとって必要な制作や学習をする場所、それがTASです。



TOBEBUN GALLERY 2022



「Fresh」井上 優月
第71回 秋季県展
デザイン部門 特選



「歪」中川 文
愛媛県高等学校総合文化祭
美術・工芸部門優秀賞
(全国出場)



「愛月徹灯」岡本 莉央
第71回 秋季県展
工芸部門 愛媛県美術会大賞
(最高賞)



「愛い」松本 葉名
愛媛県高等学校総合文化祭
写真部門 優秀賞
(全国出場)

昨年度も多くの場所でとべぶん生が活躍しました。愛媛県立学校総合文化祭や県展などに多くの生徒が出品し、全国出場を勝ち取ったり、最高賞を受賞したりするなど、輝かしい成績を収めました。

公募展受賞など

- 令和5年度愛鳥週間用ポスター原画
金賞1名 銀賞1名 銅賞1名ほか
- 令和4年度環境啓発ポスターコンクール
銀賞2名 銅賞1名
- 令和5年度用緑化キャンペーンポスター原画
金賞1名
- 令和4年度人権尊重の意識を高めるためのポスター作品
特選1名 優秀賞2名
- パソコン甲子園2022 いちまいの絵 CG部門
佳作3名

ほか多数

外部依頼への取り組み

- 大宮八幡宮干支絵馬奉納
- えひめ生涯学習夢まつりステージバックパネルデザイン
- 愛媛県高等学校体育連盟ポロシャツデザイン
- 第28回 NIE 全国大会松山大会シンボルマーク
- 劇団大森組旗揚げ公演「村上海賊記」舞台美術背景制作

ほか多数



とべぶんの日々 あなたらしさがとべぶんをつくる

1. 毎日のクロッキーの時間 2. 卒業制作展ポスター 3. 似顔絵で競い合う運動会競技? 4. 李萬煥作品の下で(研修旅行) 5. 奉納絵馬の見学(1年遠足) 6. 応援合戦(運動会) 7. 八瑠菜への訪問(1年遠足)
8. スカイツリーの展望台で(修学旅行) 9. とべ動物園での制作(1学期作品コンクール) 10. チアダンス(運動会) 11. 清引き練習(1年デザイン基礎) 12. 秋の砥部焼祭り販売会(陶芸部)
13. 道路の手引き表紙絵原画制作(2学期作品コンクール) 14. 卒業制作大作の輪葉掛け(陶芸) 15. プロジェクションマッピング(文化祭前夜祭) 16. 石膏デッサン(3年実習II 美大受験コース)
17. 大洲高校とのオンライン交流(3年 国語表現) 18. ほうきで掃く生徒 19. 文化祭ファッションショー(3年課題研究) 20. ログマークのデザイン(3学期作品コンクール)

砥部町とともに、100年目の未来に向けて

愛媛県立松山南高等学校砥部分校（とべぶん）の歴史は、「砥部焼」の里「砥部町」に、前身である愛媛県立砥部高等学校が作られたことに始まり、今年で76年目を迎えます。全校生徒120人足らずの小さな学校ですが、ものづくりの町「砥部町」の人やもの、自然に支えられながら、砥部焼の継承だけでなく、最先端のデジタル表現までも網羅する幅広いデザインの教育を行って来ました。とべぶんは砥部町とともに100年目の未来に向けてこれからも歩んでいきます。

沿革

- 昭和 23 (1948) 年 愛媛県立砥部高等学校（定時制普通科）旧砥部中学校校舎で開校
- 昭和 28 (1953) 年 砥部町大南に新校舎落成・移転
- 昭和 37 (1962) 年 愛媛県立松山南高等学校砥部分校となる（全日制工芸科・家政科）
- 昭和 41 (1966) 年 工芸科をデザイン科と改称
- 昭和 45 (1970) 年 家政科廃科、デザイン科単科となる
- 昭和 61 (1986) 年 砥部町岩谷口に新校舎落成・移転
- 平成 29 (2017) 年 創立 70 周年記念式
新北上市立鶯歌高級工商職業学校と姉妹校提携
- 令和 5 (2023) 年 新北上市立鶯歌高級工商職業学校とさらなる協力を推進するため、砥部分校として協定を締結

部・同好会活動

放送／演劇／ソフトテニス／卓球／スポーツ／美術／写真
アニメ／陶芸／イラストレーション／新聞／園芸／茶道
国際交流同好会／手芸同好会／ウッドクラフト同好会

とべぶん
DESIGN

愛媛県立松山南高等学校 砥部分校デザイン科

〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口7番地

TEL 089-962-4040 FAX 089-962-4294



学校公式ホームページ 砥部分校公式 Youtube チャンネル

愛媛県立松山南高等学校（本校）

〒790-8506 松山市末広町11番地1

◆全日制 TEL 089-941-5431（代表）

□普通科 □理数科 FAX 089-933-3114

◆定時制（単位制） TEL 089-941-5509

□普通科 FAX 089-933-3114

